

令和 7 年度 第 4 回西区自治協議会 会議録

日 時	令和 7 年 7 月 3 0 日（水）15：00～		会 場	西区役所 健康センター棟 3 階 大会議室
出席者	委員	風間会長、岩沢副会長、山賀副会長、中村委員、伊藤(甲)委員、渡邊委員、関委員、丸山委員、伊藤(健)委員、田村委員、笹川委員、伊藤(正)委員、藤橋委員、大島委員、青木委員、尾田委員、荻野委員、塩川委員、羽賀委員、山岸委員、長澤委員、高橋委員、古俣(愼)委員、西山委員、山口委員、今村委員 計 2 6 名		
	事務局	水野区長、大橋副区長、兼島地域課長、治田区民生活課長、吉岡健康福祉課長、浅間保護課長、中村農政商工課長、長井建設課長補佐、野崎西出張所長、菊地黒埼出張所長、永井西区教育支援センター所長、高野坂井輪地区公民館長、真柄坂井輪図書館長、土木総務課大塚主査 他		
傍聴人	県議・市議…2 人/報道…1 人/一般…0 人			

【開会】

（地域課・吉岡補佐）

- ・出席予定委員数 26 名、会議成立の報告
- ・会議内容公表の報告
- ・資料内容確認

【自治協からの報告】

（風間会長）

それでは第 4 回西区自治協議会の本会をこれから始めさせていただきます。

初めに自治協からの報告になります。

それでは、各部会の部会長から簡潔に報告をお願いします。

まず初めに第 1 部会の伊藤部会長よろしく願いいたします。

（伊藤（健）第 1 部会長）

第 1 部会の伊藤でございます。

第 4 回会議ということで 7 月 14 日に行いました。

出欠に関してはこちらに記載の通りということになります。

内容としましては、前回の振り返りを行いまして、

その後、特色ある区づくり予算ということで、

令和 8 年度に向けての予算検討と意見交換ということになりました。

内容につきましてはこちら資料の 2 枚目の方に意見等が載っておりますので、

ご覧いただければと思います。

初めに共通という部分でいきますと、

「やさしい区役所推進事業」ということで、健康センターの改修というふうなお話いただきました。何分にもそういうところは非常に重要ですのでこれはいい内容だと思います。ぜひいろいろと改善していただければというふうな形のご意見がありました。

そして、建設課事業3番でございます。

「やってみよう地域で考える雪対策モデル事業」ということでこちらについてなんですが、年1で行っていくということなんですが、実施内容のフィードバックというものが無いようですので、その辺をフィードバックをしていただきたいということと、年度につき1地域ということになってますが、できればいろいろな地域で困ってるところもあるので、そういうところも複数でできるようにしていただければいいんじゃないかというご意見がありました。

あと4番目の「きれいなまち作りサポート事業」としまして、所管は区民生活課の方になりますが、これは昨年度第1部会で行った啓発活動がかなり効果があったようです。それを継続して行うという形で進んでいくというご意見でございます。

あと8番目の「なぎさのふれあい広場改修事業」に関してなんですが、こちらの方はキッチンカー等の出店がさらに増えるような工夫、要は人が集まるという部分で一番いい環境のところですので、盛り上がるような形をどんどん作っていただきたいというふうな形のご意見となっております。

次のページでございますが、10番の「地域と大学連携事業」という部分では、地域課の兼島課長からのご説明が少しあったんですが、現在決まっているという内容をどんどん進めていただくということでお願いしておきました。

あと「Meetup!NiigataWEST2040」についてなんですけれども、地域と特に関わりがもっとあるといい。そういう取り組みをですね、いろんな団体に関わる活動をしているということで、我々の方にももっとわかりやすくしていただき、もうちょっと地域との連携が進むような形を押していただきたいということのご意見でした。また前の方に戻ります。

あとは防犯状況です。

また自転車の窃盗等に関して、一番西区が増えている状況があります。そういった点のご報告等がございました。

以上になります。

次回は、8月8日金曜日15時から健康センター1階で行います。以上でございます。

(風間会長)

はい、ありがとうございました。

それでは、続いて第2部会山岸部会長お願いいたします。

(山岸第2部会長)

第2部会の山岸です。

第2部会第4回会議につきましては7月10日1時半から対策室で行われました。

出欠につきましては記載の通りです。

前回の会議内容をもとに振り返りを行いました。

それから先ほど1部会でもあったように特色ある区づくり予算についてというところで、皆さんの意見をまとめております。

後ろに行っていただきまして、特色ある区づくり予算についての意見としましては、

「やさしい区役所推進事業」は、利用者にとって一番ストレスがかかるのが待ち時間なので、内装とかでふんわりと柔らかく、明るくしたらいいんじゃないかとか、杖やすめがあるような細かな気配りが欲しいな、といった意見です。

9番の「海の賑わいスポーツマイルプロジェクト」につきましては、

種目を増やしたらどうかということですか、

魚釣りをマリンスポーツとしたらどうかとか、

西区はファミリー向けというような形で他の区との差別化をした方がいいんじゃないかとか、

海だけではなくウォーターシャトルなどもある信濃川にも着目してほしいという意見がありました。

10番の「地域と大学連携事業」につきましては、

参加者や外部などからの評価を集めてはどうか、

資金がついたことで事業が実施できたと喜んでいる学生の声を聞いた。

学生の取り組み支援をぜひ継続してあげて欲しい、

学生の活動に企業が注目しコネクションができたという話も聞いているとか。

良い成果ができている一方で広報が少ないように感じる、効果的な広報が行われたらいいというようなすごく前向きなご意見がたくさん出ました。

11番の「Meetup! NiigataWEST2040」につきましては、

課題解決という視点においては連続性、育成を盛り込んでいくことが大切なのではないか

というようなご意見や、

2040問題というテーマが大きすぎて何をしたいかを見失いがちになってしまうのではないかと

それから具体的な取り組みについて考える段階まではよかったが、

アイデア出しだけで終わってしまうともったいない、といったようなご意見が出ました。

戻りまして会議の概要になります。

その他そういったご意見のあと、

第2部会の所管分野に関連する他の区の自治協の協体制や事業について、
参考資料の配布がありました。

それから、前期まで引き続きやっていた

西区自治協議部会支えあいの大切さ普及事業の決算状況についての参考資料や、
今後の方向性について話し合っていこうといった意見で終わっております。

次回は8月5日火曜日13時半から健康センター棟1階で次の第5回会議が行われる予定です。
以上です。

(風間会長)

はい、ありがとうございました。

それでは第3部会の山賀部会長お願いいたします。

(山賀副会長・第3部会長)

第3部会のご報告をします。7月10日に開催しました。

前回の振り返りを行った後、特色ある区づくり予算についての意見をまとめました。

1枚めくっていただきまして、

まず「やさしい区役所推進事業」については、

雰囲気明るくするのもいいんですが、来庁者が過ごしやすい場所作りをしてはどうか
というご意見がありました。

その下の「住民バス利用促進事業」については、

佐潟バスなどは通学に使われることが多いので、

バスの乗り方教室をこども向けに行う予定なのですが、

高齢者向けのものがあってもいいんじゃないかという意見がありました。

それから5番の「西区のオススメ！農産物販売促進事業」については、

スイカのルビームーンをもっと大々的に宣伝してブランド化してはどうかとか、

将来的に茶豆やいもジェンヌと並んで三大ブランドにできると良いといった意見がありました。

あと西区公式インスタグラムの「西くらし」では農産物の発信が少ない気がするので、

もっと有効活用して発信してほしいというふうなことです。

それから首都圏からの農産物の引き合いなどの増減がわかると良い、というご意見もありました。

それから7番「未来を拓く農業支援事業」では、

農業女子のすゝめ事業に関してはある程度できている横の繋がりをより強化できるといい、

というようなご意見がありました。

それから今後の農業を担う若い世代を育成しきれてない現状があるというご意見がありました。

めぐりまして、10 番の「地域と大学連携事業」ですが、

小さな取り組みに対しても対象になるということなんですけれども、

それを進めすぎるとちょっと成果が見えなくなるんじゃないかというご意見がありました。

それからが活動している学生団体の情報を一元化しておくこの事業だけでなく、

他の事業にも活用できるんじゃないかということ、

それから採択された事業以外にも、独自で大学と中学校が連携している取り組みもある

という情報提供もありまして、そうした取り組みも幅広く支援されるという良いというご意見でした。

以上です。

(風間会長)

それでは続いて、総務特別部会につきましては私の方から報告をいたします。

7 月 22 日午後 3 時から約 1 時間半ほどで打ち合わせをしました。

基本的に今日の本会の内容の議事調整になります。

次第の案に基づきまして、関係者で報告の内容や会議の進行を確認したところでございます。

続いて、広報紙につきまして、当初は 1 回目の発行が 9 月 7 日を予定しておりましたけれども、

ちょっと予定が 2 週間遅れまして、9 月 21 日の日曜日というふうに変更になりました。

21 日に発行が変更になりました第 48 号の紙面構成や記事の内容につきまして、

5 名の委員の皆さんを中心に各部会長等からもいろいろとご意見をいただきました。

紙面構成なんですけれども、

一面には自治協議会とは何ですかというようなタイトルで、

羽賀委員と山口委員が職員の皆さんにインタビューや若い世代へのアンケートを行う予定です。

それから自治会の活動につきましては、

私と長澤委員が協力して、各部会へのインタビューをやってみたいと思います。

そして 2 面の方では、古俣委員よりご提案があり、

西区で活躍された方を取り上げたいと。

そしてそれと同時に、それに関係するクイズを掲載する予定です。

どうぞよろしくお願いいたします。

次回は総務特別部会は 8 月 21 日午後 3 時からを予定としているところです。

これまでの各部会の報告について、何か質問がありましたら、挙手をお願いします。

(質問なし)

【各所管課からの報告】

(風間会長)

では、続きまして各所管課からの報告となります。

(1) 新潟市が管理している橋の現状および今後の取り組みにつきまして、
土木部土木総務課の大塚主査よりご説明をよろしくお願いいたします。

(土木総務課・大塚主査)

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。

私は今年度から橋梁事業を担当している土木総務課の大塚と申します。

本日はよろしくお願いいたします。

皆さんのお手元に「新潟市橋物語」というリーフレットを2種類お配りしました。

右側に配布資料 1-1 とあるものが、

5 年前の令和 2 年に、市民の皆様は橋について関心を持ってもらおうと作成したものです。

配布資料 1-2 が今年の 3 月にできたもので、新潟市の現状や今後の取り組みについて

配布資料 1-1 よりも少し踏み込んだ内容となっておりますので、

本日は配布資料 1-2 を中心にご説明します。

現在このリーフレットは各区役所のラックの方や、

西区は建設課のカウンターに置いております。

またホームページにも載せてありますので、よろしくお願いいたします。

それでは配布資料 1-2 の全国における橋の現状から説明します。

全国には 73 万橋あり、そのうち 40%が建設後 50 年以上経過しているものとなっております。

1970 年代頃に集中的に建設されており、

この写真にある通り錆やひび割れ、剥離等が出ているような状況となっております。

2012 年に発生しました中央自動車道の笹子トンネルの天井板落下事故を受け、

その翌年 2013 年に道路法が改正され、5 年に 1 回の点検が義務化にされました。

それを機に本格的に修繕に着手しております。

建設後 50 年を経過した橋の割合について、全国の値ですが、

現在では 39%、10 年後だと 63%、20 年後には 81%まで割合が上がるようになっております。

新潟市も同様の割合で、現在 39%、10 年後で 61%、20 年後は 82%まで

上がるようになっております。

ではなぜ橋を修繕する必要があるかということで、リーフレットには歯を例にした記載がありますが、建設した直後は当然綺麗で新しいものなのですが、使っていくと、少しずつ劣化や損傷が見受けられていきます。そのまま放置しますと修繕できない、歯でいうと治療ができない状態になってしまいますので、そういった状態にならないように定期的に点検と修繕を行っています。

橋の維持管理費でどのくらいかかっているかといいますと、点検費は1年間で約2億4000万かかっています。

修繕費については、小さい橋から大きい橋までありますが、1橋あたり数十万から10億円程度かかっているところです。新潟市では年間約22億から23億円ぐらい、修繕費・点検費合わせてかかっているような状況となっております。架け替えについてですが、白井橋を例にすると約120億円かかっており、架け替えとなると桁が変わってくるような費用が必要となります。

次に大きく開いていただきまして、2番の新潟市における橋の現状ですが、新潟市は国道、県道、市道合わせて約6900km管理しております。こちら政令指定都市で3番目に多い管理数となっております。橋の例として東区の泰平橋、秋葉区の新津跨線橋といった大きい橋のほか、排水路などに架かっている小さい橋も新潟市が管理しております。

新潟市特有の問題として、海沿いに面していること、また冬になると凍結防止剤を散布しますので、そういった塩分がコンクリートの中に入り、コンクリートの中にある鉄筋が膨張して、ひび割れや腐食などを起こし、劣化しやすいような環境となっております。

こちらが新潟市の地図です。赤い丸が100m以上の橋、黄色い丸が15mから100mの橋、青い丸が2mから15mの小さい橋となっております。合計で3933橋、最新の数字だと3925橋なのですが、そのうち8割以上が青丸のさい橋となっております。西区では全体の13%、525橋ありまして、そのうち70%の364橋が小さい橋となっております。

これからの橋の計画ということで、財源に限りがある中で、

どのように管理していくんですが、まず1つは現存する橋はできる限り長く使い続けます。点検によって悪いところが見つければ、修繕ができなくなる前に予防保全という形で、早めに修繕を行って管理していきます。

また老朽化が進んだ場合は、車両の通行規制を行ったりなどしながら、使い続けていきます。

続きまして道路の重要度に応じたメリハリある維持管理ということで、関屋大橋を例示としていますが、こちらは交通量が多い道路で、また緊急輸送道路といいまして、災害直後から緊急車両の通行を確保すべき重要な路線に指定されております。架け替えが容易でないので早め早めに修繕して、健全な状態を保てるように管理しています。

続きましてその下の無名橋という小さい橋は、比較的交通量が少ない橋ですが、地域での橋の使われ方を確認するために、昨年度西蒲区で意見交換会を実施させていただきました。

テーマとしては、使っている橋の使用頻度や、危険に感じたエピソード、老朽化が進んでる橋について、仮に交通規制をした場合の対応についての意見交換をしました。

この右側の絵にあるように、田んぼの中にかかっている橋、県道、また市道に抜ける橋など、様々な道路に橋が架かっていますが、どんなに小さい橋でも地域にとっては重要な橋があるということ、逆に大きい橋でもほとんど使っていないような橋があるなどの貴重な意見を得ることができました。

今後、こういった小さい橋については地元の方に意見を聞きながら、状態が悪いから何でも修繕するというのではなく、地域に即した修繕を行っていく予定です。

1つ誤解がないように補足させてもらいますが、使用頻度が減った橋についてはすぐ撤去したり落としたりという話ではなくて、使用頻度が減ったということでも、例えば田んぼのときには使っているとかあとはこの橋がないと帰ることができないなどの、どうしても必要な橋も多くあると思いますので、そういったところを地域の皆様の意見をよく聞きながら、今後補修や架け替えについてよく話し合いをして決めていこうと思っております。

最後にリーフレットの一番後ろに、橋の異常に気がいたら教えてくださいということで、連絡先を載せております。

どうしても橋の下はわかりにくいと思うんですが、表面上の段差だったり陥没等があれば、区役所などに情報提供いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。

ありがとうございました。

（風間会長）

大塚主査、ありがとうございました。

皆さんの方で今の大塚主査の説明で何か質問がございましたら、
挙手をお願いしたいんですけどいかがでしょうか？

はい、長澤さん。

（長澤委員）

今お話を聞いて橋の維持管理も大変お金がかかるもんですね。

今ちょっとした橋を架け替えると 120 億かかるというのにびっくりしました。

小さな橋については、その使用状況とか地域の方のご意見を聞きながら、

廃止することも視野に入っているというお話だったんですけども、

大きな橋はどうなんでしょうかね。

というのは、これから将来人口がどんどん減少してまいりますし、

ここには 10 年ぐらい先の試算が出てますけれども 20 年 30 年、あるいは 50 年、長いビジョンでですね、
主要道路の統廃合ということも考えなくてはいけないのかなと、

人口が減る中でやっぱりこういう交通網の縮小ということもやっぱり必要なことなのかなと思いますので、
その辺もぜひ検討していただきたいなと思います。

現在そういったのは検討されてるんでしょうか。

（土木総務課・大塚主査）

大きい橋については、今話ありましたよう架け替えはどうしても難しいので、

その状態にならないように、現在修繕の方を繰り返しております。

ただどうしても沿岸部だったりとか、条件的に悪いところについては、

いつかは架け替えをしないとイケない時期がきます。

それが 20 年 30 年 50 年先かもわかりませんが、

まずはその状態にならないように適切に点検や修繕を進めていきたいと思っております。

（長澤委員）

ありがとうございました。

私がお願いしたのは中央道路であってもやはり時代時代にですね、

その必要性を十分考慮していただいて、ぜひ効率の良い道路網にしていっていただきたいなといった
お話でしたありがとうございました。

（風間会長）

長澤委員ありがとうございました。伊藤委員どうぞ。

（伊藤（健）第1部会長）

すみません、せっかくなんでちょっと実はお聞きしたいことがあるんですが、
実は開港150周年で橋の修繕ということで、
今例えば西区で言えば有明大橋、あれも150周年ということで修繕をしてるんだと思うんですが、
今どの程度西区内でそういう修繕が進んでるのか、
もし資料があるんであればちょっとご説明いただければ、
実際にもう今やってる改修工事やってるところもあるので、わかるのかなと思ひまして
教えていただきたいです。

（土木総務課・大塚主査）

配付資料の1-1の真ん中のQの7番「点検結果は教えてくれるの？」というところで、
国が定めている定義で、橋の点検結果を4段階に区分しております。
Ⅰ判定が健康な状態、Ⅱ判定が今後悪くならないような対策が必要な状態、
Ⅲ判定が危険な状態にならないように早めの対策が必要、
Ⅳ判定が危険な状態なので緊急に対策が必要というような4段階で区分分けをしています。

基本的に修繕の対象となるのがⅢ判定ですが、
有明大橋など、交通量が大変多いところについては、
Ⅱ判定のものでもここからさらに区分を細かく分けまして、
Ⅲ判定にならないような予防保全的な修繕を行っております。

西区につきましては、
このⅢ判定の施設が全部で43橋ありまして、そのうちまだ着手できていないのが12橋あります。
こちらは橋の優先順位つきまして、順次着手していくような状況になります。

（伊藤（健）第1部会長）

ありがとうございます。
要は開港150周年で橋を直すっていう話があったんですけども、
実際その後進捗状況とかっていうのも全然来てなかったもんですから、
どうなってるのかなと思ってちょっとお聞きしました。
ありがとうございます。

（風間会長）

はい、伊藤委員ありがとうございました。他にいかがでしょうか？
山岸委員どうぞ。

（山岸第2部会長）

山岸です。よろしくお願いします。

これ今日私初めて拝見させていただいて、目的というか、このパンフレットを作った意味が何かあるのかなと思うんですが、その辺いかがでしょうかね。例えば、財政が逼迫している中で今橋の架け替えが難しい状況があるのかとか、それとも一気に古くなってきたので、皆さんの目も必要で修繕に向けて情報提供が欲しいとか、何か目標があったのかなと思うんですけどそこら辺教えていただけますでしょうか？

（土木総務課・大塚主査）

配布資料 1-1 につきましては、まず関心を持ってもらうということで作らせてもらいました。先ほどご説明した配布資料 1-2 につきましては、今まで全戸配布していなかったりとか少し広報的に弱いところがあり、それでこういった自治協の場や地域の方に、まず橋の現状を知ってもらうようなことを目的に作らせていただきました。

橋というと大きい橋をよくイメージされますが、実際にはこの写真にある小さな橋のように、皆さん何気なく通ってるところが、実は橋だったというところが多いので、そういったところにもお金がかかってるということと、あとはそういった小さい橋を修繕するにしても 3000 以上の橋がありますので、一つの修繕の費用が少額でも 3000 橋あれば何億といったお金もかかってきますので、そういった今の現状をよく知ってもらいたいという目的で、配布資料 1-2 のリーフレットを作りました。

（山岸第 2 部会長）

ありがとうございました。
1-1 のその Q7 を見ますと、赤字がもう 13%ということはなかなか新潟市厳しい状況があるのかなと思うので、私達も協力しながら早めにこれも進めていただければと思います。
ありがとうございました。

（風間会長）

はい、山岸委員ありがとうございました。
羽賀委員、どうぞ。

（羽賀委員）

すみません、これ知ってもらいたいっていうもし目的であった場合のちょっとご提案というか、お聞きしたいんですが、例えばお医者さんとか小児科とかどうしても待ち時間が生まれて、もうなんかもう何もできないみたいところで動画を流して見てもらうとか、そういうことってお考えですか。

こういうのが区役所に置いてあっても、
手に取るっていうのがまず興味関心がないとっていうところと、
その場で立って読める情報量ではないなと思うので、
広く知ってもらいたいてなると目に自然と入ってくるようなところで使うのが効果的かなと
考えたんですがいかがでしょうか？

（土木総務課・大塚主査）

はい、ありがとうございます。

今までは作ってラックとかに置いておしまいでした。

今回こういった場でお話させてもらうのも初めてですし、

今年度西区で5年に1回の点検に当たる年であり、364橋点検予定となっております。

その中で特に橋を多く抱えているコミ協さんを対象に、この資料や点検する内容、

また、5年前の点検結果がありますので、今使ってる橋がこういう状態ですよというのを

後日説明する場を設けさせていただきたいと思いますので

よろしくお願いいたします。

（風間会長）

ありがとうございます。

他にはよろしいでしょうか？

質問大変ありがとうございました。

ご説明の方も大変ありがとうございました。

それでは、続きまして各所管課からの報告の2番目になります。

西区区ビジョンまちづくり計画、こちらは2つあります。

兼島地域課長より説明をお願いします。

（地域課・兼島課長）

西区区ビジョンまちづくり計画、第1次実施計画における、

令和6年度の実施結果について報告いたします。

A4 タテの資料、「当日配布資料2－1」をご覧ください。

この、西区区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画とは、

区ビジョンに掲げた、「目指す区のすがた」を実現するための具体的な事業の概要と取組みの目標を
定めたものになります。

表紙には「目指す区のすがた」別に、取組の成果が、

目標に対して、「達成」、「一部達成」、「未達成」で評価結果を集計し、記載しました。

全体では、(再掲事業を除いた) 122 事業に対して、

「達成」が 109 事業、「一部達成」が 1 事業、「未達成」が 12 事業でした。

なお、「一部達成」、「未達成」となった 13 事業のうち、5 事業は能登半島地震の影響により、事業の一部が中止になったことや、災害復旧事業を優先したことが原因となっています。

各事業の取組結果は、表紙をめくって 2 枚目から、

全 122 事業の結果を記載してあります。

なお、資料の枚数が多いため、1 枚に 2 頁ずつ記載しておりますがご了承ください。

本日はこの中から、4 つの目指す区のすがた毎に、主なものを抜粋して説明いたします。

はじめに、「Ⅰ 人と人がつながり、支え合うやさしいまち」です。

1 ページをご覧ください。

一番上、「健康ステップアップ事業」です。

本事業は「誰でもどこでも健康教室」と称して、生活習慣病の予防や

介護予防を目的に、地域の茶の間や自治会、コミ協に出向き、保健師などが健康教育を行うものです。

教室の内容は、団体の希望を聞きながら決定していきますが、

食事や運動、お口の健康といった内容が人気になっています。

また、昨年度は、能登半島地震の被災者向け講演会を 2 回開催し、

災害後のこころとからだのケアについて学んでいただく機会を提供しました。

令和 6 年度は、これら健康教室を年間目標の 25 回と同数の 25 回実施し、「達成」となりました。

次に、「Ⅱ 安心安全で快適に暮らせるまち」です。

14 ページをご覧ください。

一番上、「IoT 技術を活用した登下校子ども見守り事業」です。

本事業は、子どもの見守り活動を補完するため、

子どもの位置情報を記録する見守り端末を希望者へ無償で配布するものです。

令和 6 年度は、未実施の 8 校で事業を開始し、

区内 19 の小学校全校で事業を展開することができました。

今後は、本事業に関連するアプリを地域の方々へ紹介するなど、

事業の周知に取り組み、本事業の実効性をさらに高めていきます。

次に、17 ページをご覧ください。

「公園緑地管理事業」です。

地域住民の協力を得ながら、緑を育み、維持管理を行うことで、

より多くの方から親しまれる公園を目指すため、地域住民から

構成される公園愛護会が実施する清掃活動等に対し、協力を金を支払うものです。

令和 6 年度は、協力金申請団体数を 178 団体と見込んでいましたが、

団体の解散や、工事等で使用ができない公園があったことなどから、175 団体にとどまりました。結果、評価は未達成となりましたが、引き続き、地域住民の協力を得ながら、より多くの方から親しまれる公園を目指します。

次に、「Ⅲ 豊かな自然と食を楽しめるまち」です。

31 ページをご覧ください。

一番上、「ボランティア清掃活動支援」です。

ごみ袋の提供や収集ごみの回収手配など、

西区の各種団体が取り組むボランティア清掃活動を支援しています。

西区のボランティア清掃参加団体数は 554 団体で、市内 8 区の中で最も高い数字です。

道路、公園といった身近な場所だけでなく、河川敷、海岸など

幅広く地域の美化に取り組んでいただき感謝申し上げます。

今後も皆様の活動に対し、継続的に支援、協力してまいります。

次に 39 ページをご覧ください。

「西区のおいしい農産物魅力発信事業」です。

国の GI 登録産品「くろさき茶豆」や、

新潟市食と花の銘産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」を中心に、生産者や農協、

地元商工会と区役所で組織する農商工連携協議会で、首都圏及び関西圏で販売促進活動を実施したほか、県内のイベント、SNS による情報発信など、PR 活動を実施しました。

地場産農産物の知名度向上のため、引き続き同事業を実施します。

次に、「Ⅳ 区民が主役の活力あるまち」です。

はじめに、45 ページをご覧ください。

「(仮称) にしく 2040 問題会議の開催」です。

計画当時は仮称でしたが、令和 5 年から、「Meetup!NiigataWEST2040」と事業名を変更し、

2040 年に想定される変化や課題を見据え、バックキャスティングの視点から西区の将来を主体的に考え、実践する、若手を主体としたコミュニティの運営に取り組んでいます。

令和 6 年度は海辺をテーマにフィールドワークやワークショップなどの交流イベントを実施し、

年度末にはゲストによる講演と参加団体の活動発表会も行いました。

今後も西区で活動する個人、団体の交流の場や、学びの場を提供しながら、

参加者同士が連携し、主体的なまちづくり活動に繋がるよう、支援していきます。

次に、51 ページをご覧ください。

2 つ目、「デジタル利用支援事業」です。

図書館では、ホームページでの本の予約、貸出期間延長、電子書籍の閲覧などが可能です。

これらの利用を促進するため、一定のキャンペーン期間を設け、

希望者全員に職員が対面で丁寧な操作説明をすることにより、参加者が増え、図書館が便利になったと好評をいただきました。

次に、53 ページをご覧ください。

「地域と学校パートナーシップ事業」です。

学校教育活動のさらなる充実を図るとともに、

豊かなコミュニティづくりのために、地域に開かれ、地域とともに

歩むことができるように、学校と社会施設、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや協働事業等を推進し、学・社・民の融合による教育を推進しています。

西区の全小中学校に地域教育コーディネーターを配置し、ネットワークづくり、

地域人材の参画と協働支援、学びの拠点づくり、教育活動の地域への発信を行っています。

令和6年度は小中合同の研修会や小中の校種別での研修会を実施しました。

また、西区だよりで総合学習の取り組みを紹介しました。

令和6年度の実施結果の報告は以上になります。

引き続き、区ビジョン基本方針で掲げた「区の将来像」や、「目指す区のすがた」の実現に向けて、区民と共に、区役所全所属で取り組んでまいります。

説明は以上になります。

(風間会長)

それでは引き続きまして第2次実施計画につきまして、

引き続き兼島課長より説明をお願いいたします。

(地域課・兼島課長)

次に西区区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画についてです。

当日配布資料2-2をご覧ください。

先程、第1次実施計画の令和6年度の実施結果を報告いたしました。

この「西区区ビジョンまちづくり計画実施計画」は、社会環境の変化や、新たな課題に対応するために、取り組む事業、目標値につきましては、2年ごとに見直しを行うこととしております。

第1次実施計画が令和5年度、6年度の2か年で終了しましたので、これまでの取り組み結果も踏まえ、新たに第2次実施計画として令和7年度から2年間の取り組みと目標値をまとめました。

今日は、資料の見方を説明させていただくために、抜粋したものをお配りしております。

実施計画本体につきましては、区のホームページに掲載してありますので、

資料の表に記載してございます二次元コードを読み取っていただくか、

紙で必要な方につきましては、事務局までお声がけいただければ、

8月の専門部会の際にお渡しいたします。

実際の実施計画につきましては、60 ページとかなり大量なものになりますので、ご了承ください。

では、資料の裏面をご覧ください。

こちらは、資料の見方の説明になります。

本ページは、目指す区の姿の 1 つ目、左上にローマ数字の I と記載されました

「人と人がつながり、支え合うやさしいまち」のページになります。

I 「人と人がつながり、支え合うやさしいまち」から

四角囲みで記載した主な取り組み、

黒丸の「自分の健康に関する区民一人一人の意識啓発の継続」までは、まちづくり計画の本冊の記載内容をそのまま転記させていただいております。

その下の No. 1、「健康ステップアップ事業」からが区の将来像や目指す区の姿を実現するための具体的な取り組みになります。

事業名、事業概要、令和 6 年度実績を記載してございまして、

令和 7 年度以降の目標値をそれぞれ掲げてあります。

なお、この目標値の設定にあたっては、「ストレッチ目標」の考え方を取り入れており、高すぎる目標値ではなく、現状の延長線上よりももう 1 段上を目指した目標設定を行っています。また、目標は可能な限り数値化することで、達成度が計れるようにしております。

なお、取り組みに対する具体の事業が複数ある場合は、

事業が No. 2、No. 3 と増えていくような形となっております。

資料の見方の説明につきましては、以上となります。

（風間会長）

はい、ありがとうございました。

今の説明について何か皆様の方からご意見がありましたら挙手をお願いいたします。

はい、山口委員。

（山口委員）

山口です。

この主な取り組みについてちょっと疑問に思ったんですけども、新しい取り組みがこの中に記載が織り混ざっている状態なのか、ちょっとご教示いただければと思います。

（地域課・兼島課長）

この資料 2-1 で説明したのが令和 5 年度 6 年度の実施計画で、資料 2-2 の第二次実施計画の方で新たに加わった事業があるかないかっていうご質問でよろしいでしょうかね。

（山口委員）

はい。

（地域課・兼島課長）

新たに加わったものというのは特にはないです。

（山口委員）

ありがとうございます。

（風間会長）

ありがとうございました。

他にはいかがでしょうか？

それでは続きまして、お手元の次第のその他なります。

西区自治協議会委員交流ワークショップを6月30日に実施しました。

そのワークショップの振り返りにつきまして、山賀副会長より報告をお願いいたします。

（山賀副会長・第3部会長）

私から報告します。

次第が表紙となって綴じてある資料の一番最後、

まとめが横型となっております。

前回6月30日の本会議の後に交流ワークショップ開催いたしました。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。

様々な意見交換をしまして、職員の方々に記録を取っていただいたので、

その記録に残っているものをここに整理しました。

委員の好きなものとかそういうのを聞いたんですけれども、

これからやってみたいこととか、気になっていることっていうのだけをここにはまとめてあります。

当日それぞれのご参加された方が意見交換をして、

きっといろんな方のいろんな想いなんかを受けとめられたかと思うので、

事細かにここでは説明はしませんので皆さんにご覧いただければなというふうに思います。

ただわが地域や活動する中で気になっていること解決したい問題っていうところでは、

これからこの自治協での提案事業ですとか、

いろいろな取り組みを考えていく上での参考になるかなというふうに思います。

ちょっとそこだけ簡単にお話します。

気になっていることの左側のところから言いますと、

まずやっぱりその地域の中で活動する人材が不足している、次の世代が少ない、

自治協もそうなんですけど自治会の方の後継者などがいないというようなお話がありました。

また地域の中の交流が少ないというようなお話も出ています。

それから子どもたちが安心して過ごせる地域なのか、
どうなんだろうっていうところで気になっているというようなところがありました。
それから高齢者が増えてきている。
特に独居老人なんかが増えてきているっていうことと、
それに伴って移動が大変になっているということで、
その移動についての手段の問題についてもお話が出ていました。

それから右側に行きまして、ゴミの問題ですね。
道路ですとかまた海のゴミとかそういったものもお話がありました。
それから土地利用に関しても、船着場のところとかちょっと管理されていない
というようなところの問題が出てきたかなというところですよ。

それから西区の魅力のことについてもっと知ってもらいたいというようなご意見ですとか、
それから大学でのプロジェクトの話ですとか、
それからコンパクトシティということでまちづくりを進める上での
西区の立ち位置っていうような話も出てきていました。
意見として出たものを思い起こして、
また今後の取り組みなどに、生かしていただければと思います。
以上です。

（風間会長）

山賀副会長ありがとうございました。

皆さんの方から何か連絡等ございましたら、挙手をお願いしたいのですがいかがでしょうか？

（連絡事項なし）

【事務局からの連絡】

（地域課・吉岡補佐）

・次回開催案内

「令和7年8月29日（金）午後3時～ 西区役所健康センター棟3階大会議室にて」

・その他配布資料の説明

（風間会長）

閉会宣言〔会議終了〕